

不公平課税  
町有地占有など

# 誤りは正す山崎町政のスタートを

山崎義勝町長のもとで、町政がどのような展開となるのか、松元氏に寄せられた44%の批判票をどのように山崎氏が受け止めるのか注目されています。21日には臨時議会も開かれます。西澤議員は、新町長に対し、「解同」幹部いりなりの同和行政のもとで歪められた問題を一つ一つ改善するのか、それとも、ズルズル「継承する」のか、と迫って論陣をはります。同時に町民のくらし・子育て応援などの充実を求めて議会内外で運動していきます。

16日、西澤議員は町長室をたずね、来年度の予算要求を改めて提出したいとした上で、次のような内容で山崎町長と面談しました。

## 「国民いじめ」

### 地方いじめには共同を

ひこつは、先ごろ開かれた日本共産党の第5回中央委員会総会にふれ、日本共産党が地方政治をどうみているかとの基本的見地について、地方政治は極端なアメリカいなりと大企業優遇の自公政治の矛盾が集中的に現れていること、町長の立場と鋭く対決しなければならぬ課題もあるが、「この国民いじめ、地方いじめに対し共同して立ち向かう必要があると考えていることなどを表明しました。

これに対して山崎町長は三位一体改革などにふれ、いろいろ教えてほしいと感心しました。

## 「確認糾弾路線は

### まちがい」との表明を

もう一つは、町民相互に心の底から融合・交流をすすめるためにも、今の時点に立って、解放同盟の支部長を長らく経験した山崎氏が確認糾弾路線は間違っていた」と、しかるべき場所公式に表明すべきだと考えていると伝え

ました。

これに対し山崎町長は、当選後、一党一派に偏しないため、解放同盟の全ての役職を降りたこと、長寺支部の歴史が教育活動中心だったことを述べ、糾弾路線とは一線を画しているとの見解を明らかにしました。その上で、「近江八幡のような事件をとめられなかった」と述べ、解放同盟幹部が恐喝などの犯罪に手をそめたことについて発言し、注目されました。

これらはいずれ、山崎町長の基本姿勢の問題として町政運営と共に今後、重要な論戦のひとつになる見込みです。  
なお、面談には町長選挙の候補者としてたたった松元たけしさんも同席しました。

## お願い

新幹線栗東駅建設の  
是非を問う住民投票を  
求める直接署名

集め役（受任者）に  
なってください

私達の税金 240 億円もかけて新幹線駅建設を強行しようとしています。「できてほとんど利用しない」との批判が広がる中、「建設される事に意義がある」と言わんばかりのムダな事業をやめさせる大事な署名です。まずご家族の分をお願いします。28日までが期限です。

## 21日臨時議会 午後1時半開会 山崎町長の所信表明に 対する質議決まる

議会運営委員会

16日、議会運営委員会が開かれ、臨時議会開会冒頭に山崎新町長の町政運営・政治姿勢などの所信表明があり、それに対する質疑応答の日程が確認されました。西澤議員は、新町長の所信表明は重要なものなので質問するには検討する時間が必要なことを提起しました。協議の結果、当日の時間配分などを議長判断に任せることとなりました。

なお、1時半からは全員協議会が開かれるため、本会議は約1時間後開会の見込み。どなたでも傍聴できます。詳しくは議会事務局までお問い合わせ下さい。

傍聴にお越しく下さい

## 甲良民報

2005年11月20日 No303  
発行責任：日本共産党甲良町支部  
代表：西澤伸明 甲良町在士463  
Tel.Fax38-4949

Eメール [info@jcp-nobuaki.com](mailto:info@jcp-nobuaki.com)  
のぶあきホームページ  
<http://www.jcp-nobuaki.com/>

